

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	老人クラブ活動補助				事業番号	011-083	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
			有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			無	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画【令和6（2024）～8（2026）年度】		
3	事業開始年度	昭和 38 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	老人福祉法、堺市老人クラブ活動補助金交付要綱、堺市老人クラブ連合会補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	堺市老人クラブ連合会 市内の単位老人クラブ	対象数	単位
			約350	クラブ
7	事業の目的	老人クラブが行う事業に対し助成することにより、高齢者の幅広い社会活動を促進して、市内の高齢者の自立を支援し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的とする。		
8	事業内容	・老人クラブ活動補助金 30～44人のクラブについては年額24,000円、45人～89人のクラブについては年額52,560円、以降会員数が50人増えるごとに45,000円を上乗せした金額を補助金として交付している。 また、特例措置団体として、前年度に補助金の交付決定を受けた会員数が25～29人のクラブについては、連続して最大3年間、年額17,500円を補助金として交付している。 ・老人クラブ連合会補助金 活動推進員等の事務局の人件費＋補助対象事業に係る経費の1/2（経過措置として、R5は3/5、R6は11/20）の合計額を補助金として交付している。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	堺市老人クラブ連合会/市内の単位老人クラブ		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	老人クラブの会員数	人	目標値	35,550	33,859	33,326	33,326
			実績値	33,859	33,326		
			達成率	95%	98%		
	当該指標を選定した理由	会員減少が続いており、更なる減少を回避することを目標とする。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績と同程度を目標値として算出している。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	老人クラブの会員数（堺市老人クラブ連合会加入分）	人	目標値	25,405	24,487	23,030	
			実績値	24,487	23,030		
			達成率	96%	94%		
	当該指標を選定した理由	会員減少が続いており、更なる減少を回避することを目標とする。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績と同程度を目標値として算出している。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	老人クラブ活動補助	事業番号	011-083
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト												
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）												
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			決算		決算		当初予算		当初予算			
		事業費（a）	52,883		52,442		57,169		55,003		62,288	
		国支出金	21,246		20,850		23,021		21,711		25,652	
		府支出金	0		0		0		0		0	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他（ ）	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
		一般財源	31,637		31,592		34,148		33,292		36,636	
		14	人件費（b）	4,020		3,990		4,260		4,260		4,470
15	年間経費（c）=(a)+(b)	56,903		56,432		61,429		59,263		66,758		
事業費の内訳												
（単位：千円）												
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		堺市老人クラブ連合会補助金	R7	決算	23,808	12,497		R7	決算			
			R8	予算	29,355	14,678		R8	予算			
		老人クラブ活動補助金	R7	決算	31,195	20,795		R7	決算			
			R8	予算	32,933	21,958		R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
			R8	予算				R8	予算			
			R7	決算				R7	決算			
R8	予算				R8	予算						
	R7	決算				R7	決算					
	R8	予算				R8	予算					
Ⅳ. 事業の効率性												
単位当たり経費												
17	①	区 分			単位	令和6年度		令和7年度				
	②	会員数			人	33,859		33,326				
	③	上記①にかかる年間経費			千円	56,432		59,239				
	④	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	1,667		1,778				
	算出についての説明等		老人クラブの会員数に係る事業経費から算出									
Ⅴ. 評価												
費用対効果に係る所見												
18	定年延長など働き方の多様化により、比較的若手の高齢者の加入が非常に少ないことに加えて、価値観の変化や地域のつながりの希薄化などにより、クラブへの新規入会者が減少傾向にある。また、加入者の高齢化が進み、会長等の役員のなり手不足などから解散するクラブが増えており、令和7年度の老人クラブ会員数は令和6年度と比べ、533人（約1.6%）減少している。											
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19	老人クラブ活動への支援については老人福祉法により努力義務が課されており、高齢化が進む中で、高齢者の生きがい創出や健康増進を促進する施策が必要である。											
	老人クラブは、知識や教養の向上、健康増進、友愛・社会奉仕といった活動を通じ、交流の輪を広げることで、生きがいの創出や健康増進に寄与している。加えて、これまで培ってきた知識や経験を活かし、地域の諸団体と連携して地域での社会奉仕活動にも取り組んでおり、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与している。											
20	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
	必要性	■ 高い □ 低い	老人クラブ活動への支援については老人福祉法により努力義務が課されており、高齢化が進む中で、老人クラブは地域の高齢者の身近な通いの場として高齢者の閉じこもり予防や健康の維持に寄与している。									
	有効性	■ 高い □ 低い	高齢者の社会参加や生きがいの創出は、健康寿命の延伸や地域の活性化の観点からも重要である。今後も、老人クラブに対する補助を通じて、高齢者の多様な社会参加の機会を充実させ、生きがいの創出を支援する必要がある。									